

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和4年度分)

施設名 松江市宍道ふるさと森林公園、来待ストーン
 指定管理者 一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団
 担当課 観光施設課
 指定期間 令和3年4月1日～令和7年3月31日

1. 総合評価

S	<p>【優れていると評価した点】 両施設とも、新型コロナウイルス感染症対策については、検温や消毒に加え、「密閉」・「密集」・「密接」の3密を避けることを徹底して行った。 宍道ふるさと森林公園では星空観察会や木工体験などのイベントを実施するなど利用者へのサービス向上に努めた。利用促進の取組みとしては「We Love山陰キャンペーン」等の観光支援事業への参画やキャンプサイトでのWi-Fiの運用など、新規顧客やリピーター確保のための新しい取組みを積極的に進めている点は評価できる。 来待ストーンでは国際地学教育会議プログラム内での巡検案内など地域の歴史文化、自然環境の啓発に貢献している。教育施設としての側面が強いことから、学校教育方面へのPRに注力しており、体験授業をはじめ、放課後デイサービスへのプログラム提案を行うなど、利用者に応じた施設活用の提供は、利用する事業者からも好評を得ており、評価できる。</p> <p>【課題、改善点等】 宍道ふるさと森林公園は比較的安定した施設運営ができており、令和5年度は遊具・アスレチック(県施設)の新設を契機にさらなる誘客につなげていくことが期待される。 来待ストーンについては、小中学校の授業のみならず、学芸員を有する専門性を生かし高校・大学などとの連携も強化されたい。また、地質関係の団体などの受け入れによる利用拡大も図られたい。</p>
---	---

2. 施設利用の増減について

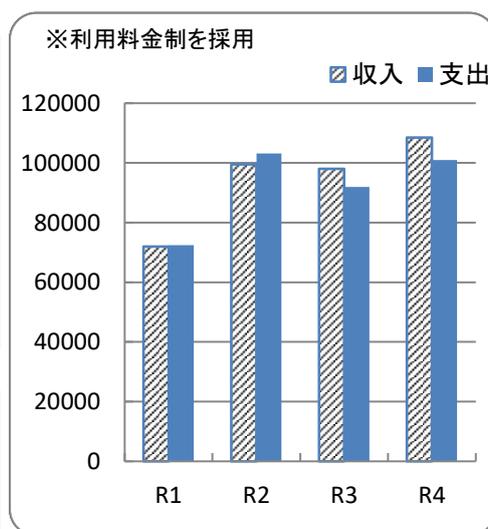
利用者数は、森林公園が49,576人(対前年比116.7%)、来待ストーン16,523人(対前年比107.4%)と両施設とも前年度を上回った。

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く)

項目\年度		(千円)			
		R1	R2	R3	R4
施設の収支	収入	71,967	99,499	98,004	108,490
	うち指定管理料	21,831	78,803	21,884	21,362
	うち利用料	50,093	19,035	72,156	86,081
	支出	72,471	103,151	91,922	100,948
	差引	△ 504	△ 3,652	6,082	7,542

上記以外の市の収入、支出

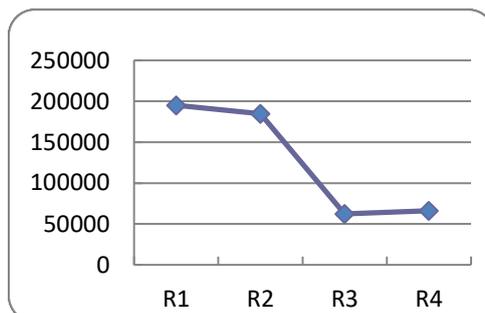
市の収支	収入(使用料)	219	196	297	235
	支出	2,628	35,641	9,023	27,583
	うち市の修繕費	738	2,045	4,125	26,975



(2) 利用者の推移

	R1	R2	R3	R4
(人)	195,147	184,637	62,302	66,099

※R3年度より実延べ利用者数に変更



(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
(森林公園) 715件	(森林公園) ①満足している (94%) ②どちらともいえない (3%) ③満足していない (3%)	(森林公園) 子供にやさしい施設だと思いました。市内に住んでいるので毎年泊まりたい。お風呂が大きくてよかった。シャワーの水圧がよかった。 見事な眺望、ぜひ再訪したいです。 炊事場に給湯施設が欲しい。 全国のキャンプ場を回っていますが、ベスト10に入ります。素晴らしいキャンプ場でした。
(来待ストーン) 601件	(来待ストーン) ①満足している (44%) ②どちらともいえない (7%) ③満足していない (0%) ④無回答 (49%)	(来待ストーン) 石山から石を切り出し加工する方法がとても分かりやすく迫力満点だった。石工さんの作品を見学し、初めて知ることがたくさんありました。 石の芸術、先人の苦勞、知恵に感動しました。 工房では丁寧に対応していただき、じっくり作品を作り上げることができ満足。 映像・クイズも楽しかった。 星の企画展がおもしろかった。

3. 自主事業

総括	立地条件や施設の特色を生かした積極的な事業展開により、施設利用者へのサービス向上と魅力向上に努めている。
実施状況	(森林公園) 森林空間の利用形態の調査研究事業、森林生態の調査研究事業、森の文化と森の機能に関する調査研究事業、森と関わる農村文化の調査研究事業、緑の募金、しまねプレミアム飲食券事業、自然観察会、星空観察会、木工体験のワークショップ、トランポリンや段ボール迷路の設置、ブライダル事業、宿泊施設の利用者への食事提供の喫茶事業、リニューアル1周年イベント「ちょびっとフェス」、クラブハウスの地域住民の交流の場としての開放 (来待ストーン) 来待石及び来待石産業の普及啓発事業、施設の景観を生かした事業(結婚式)、来待石製品や来待釉薬を使用した陶器の土産物・雑貨販売、放課後等デイサービス事業者向け体験プログラム、松江文化力体験推進事業、島根大学学生を対象とした学芸員実習

4. 評価項目及びその評価

評価項目	市評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	A
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	A
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	A
広報活動	A
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	A
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	A
個人情報保護についての研修等が十分に確保されていたか	A
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	A
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A
清掃業務	A
機械設備等の保守点検	A
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	A
松江市への報告	C
労働安全衛生	A
施設の巡視	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	A
備品の管理	B